

## 社会保障制度の国際比較

平成 24 年 5 月 17 日

貝塚 啓明

### 1) 歴史的沿革

社会保障制度はプロシアから始まる

ビスマルク（鉄血宰相, 1815 - 98）

なぜ遅れた国で始まったのか？

イギリスの場合（福祉国家）

救貧法（Poor Law）から社会保険へ

創始者（Beveridge）は保守主義社

チャーチルの政治的意図

労働者階級を引き寄せる

単一税率と固定給付

給付水準を補足給付で補う

アメリカの場合

社会保障に対しては懐疑的

医療保険がようやく成立

ヨーロッパの場合

北欧型福祉社会

### 2) 福祉国家の成立要件

Compliance が不可欠

納税者番号制度の定着

北欧とアメリカ

ラテン系諸国は不十分

### 3) 保険方式か税方式か

生活保護制度の存在

基礎年金の水準と生活保護

年金の一元化？

税との一体改革

社会保険（特に国民年金・国民健康保険）の保険料徴収の執行体制)

### 4) 社会保障制度の曲がり角

加入期間

短い期間で運営できるか？

生活保護の役割

家族形態と社会保障

世帯単位か個人単位か

効率化は可能か

弱者をとりこめるか

日本の社会保障は低い負担水準

低い保険料と国庫負担

非正規労働の存在により保険制度の *Coverage* は狭くなる

### 5) 震災と社会保障

行政機構が崩壊

どう再建するか？

産業政策の必要性

原子力発電の危うさ